

伊予市議会改革特別委員会のこれまでの取り組み

■議員定数の見直し

各議員からの主な意見は、若干は減らすべきで、現状維持に近いようなら、報酬を減らすべきではないか。18人程度は委員会構成や議会運営についても、最低必要ではないか、また多様な意見を反映させるという点で、削減には反対であるなどの意見があった。

■市民との意見交換会

議員定数については、減らすべきという意見の中で、定数は13人から18人の間で、その理由は人口減少が続く中では、定数削減を考えるべきである、との意見であった。一方では定数を減らす



市民との意見交換会（南伊予地区）

■議員のモラル

議員のモラル、その他議会改革に関する事項について、平成23年8月に講師に松山大学法学部教授「妹尾克敏先生」を迎え、講演会を開催した。

そのほか、議会のあり方、議員のモラルや市政に関する事項についても厳しい意見があった。

その中で、特に二元代表制について、首長と議会とは与えられた役割が違っており、議会を構成する議員一人一人が監視的権限を発揮できなければ、本来の議会というものには成り立っていかない。

また、首長が提案する、条例案等の是非が判断できなければ、議員自らが条例案を上程することには至らない。

これからは自分たちが考えた中身で無理なく使える言葉を盛り込んだ議員提案の条例案というのが日常的でないといけないなどの提言をいただき、今後の議会改革に向け、大いに参考となった。

■政務調査費

政務調査費の使途基準の明確化について、平成24年1月に、昨年に続き「妹尾克敏先生」を迎え、講演会を開催した。

その中で、現在の本市議会の年1回報告というのは最低限のレベルであり、今後は議会の判断によって月例報告として義務化、また政務調査費に関する報告会を開催してどうかとの提案をいただいた。

これに関しては、今後報告様式の見直しを含め、提出時期についても検討を行うこととした。

■今後の動き

当委員会としては、次回9月定例会で、議員定数の見直しについて、一定の結論を出し、伊予市議会のさらなる活性化を目指して、議会改革全般にわたり鋭意調査研究をしていく所存である。

編集後記

今回も議会だより「いよ」をご覧いただきありがとうございます。ありがとうございました。

10名の議員が多岐にわたり、一般質問を致しました。その内容も詳しく掲載しています。持ち時間40分の中で、全身全霊を傾け、より良い伊予市を目指し、理事者と取り組んだ結晶です。市民の皆様から、次号が楽しみで待ち遠しいと期待されるような、議会だよりであってほしいと願いながら、「七人の侍」は頑張つてまいります。

文責 正岡 千博

議会広報調査特別委員会

- 委員長 北橋 豊作
- 副委員長 高井 洋一
- 委員 日野 猛一
- 委員 門田 裕一
- 委員 佐川 秋夫
- 委員 正岡 千博
- 委員 岡田 博助



この印刷物は、E3PAのシルバー基準に適合した地球環境にやさしい印刷方法で作成されています
E3PA:環境保護印刷推進協議会
http://www.e3pa.com